

ナビット
検索サイト

「助成金なろう」活用

地域金融はマッチングで

データベースサービス ナビット(東京・千代田)の各種助成金が検索できるサイト「助成金なろう」の活用が地域金融機関で広がってきた。助成金や補助金は自治体ごとに違い、種類や条件も多岐に渡る。ただ、各自治体のサイトは建て付けも定型ではなく、実際に探すとなると、かなりの労力がかかるのが実情だ。

地域金融機関の営業担当者には取引先の中小企業から、補助金の活用について聞かれることも多い。業務効率化にもつながっているようだ。

ナビットは「市区町にあって時期や情報の出し方が違い、補助金の有無も不明という先も多い。予算を消化しきれていない補助金も散見される。それを一覧化した」と利

点を話す。国や47都道府県だけでなく全国1558市区町、財団、協会、情報を主婦中心の地域特派員が収集、確認している。簡易な無料コンテンツと詳細情報が月額1000円で得られる有料コンテンツがある。

金融機関にはデータベース販売もある。昨年春には、横浜信用金庫(横浜)とサイト構築を手

提供が決まるもよう。今



金融機関が運営するマッチングサイトでも使われている

での採用が決まった。取引先中小企業が設問に対し「はい・いいえ」をチェックすると、条件が合う代表的な

金融機関にはデータベース販売もある。昨年春には、横浜信用金庫(横浜)とサイト構築を手提供が決まるもよう。今、東海地区の地域銀行(ト)という。